

第26回まちとすまいの集い

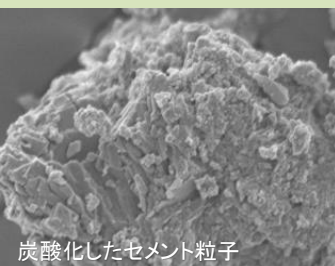
すまいとまちの持続可能性

昨今流行のSDGsやカーボンニュートラルに関する話題のひとつに、わたしたちの身近にあるすまい（建物）を末永く使っていきることや、それを基に住みよいまちづくりを考えていくこと、すなわち、すまいとまちの持続可能性があげられます。そこで重要になる行為が、既存のまちやすまいをさまざまな視点から評価していくことです。今回のまちとすまいの集いでは、建築構造・材料、建築環境、建築計画の視点から、身の回りにあるすまいやまちの持続可能性を考えてみたいと思います。

日時： 2024年10月26日(土)13:30～16:30

場所： 名古屋大学東山キャンパス

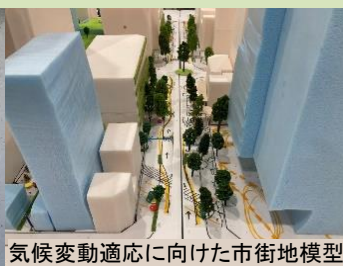
環境総合館1階レクチャーホール



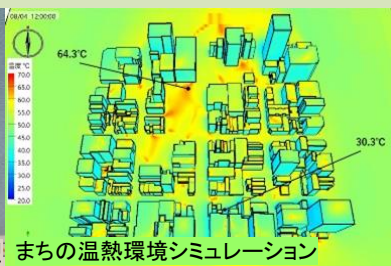
炭酸化したセメント粒子



廃校の利活用施設



気候変動適応に向けた市街地模型



【プログラム】

13:30 開会あいさつ+趣旨説明

13:40-15:10 第1部 話題提供

- ① これからのコンクリートに期待される持続可能性
- ② 人口減少社会における公共施設の持続的あり方
- ③ 将来的な気候変動の影響に適応するまちづくり

…五十嵐 豪
…李 燕
…山崎 潤也

15:25-16:25 第2部 意見交換

コーディネーター：西澤 泰彦

16:30 閉会

募集人員 : 100名(申し込み先着順)

申し込み : 氏名・所属を記したメールを下記に送付して申し込んでください。

machi@nuac.nagoya-u.ac.jp

申込締切 : 2024年10月21日(月)

主催：名古屋大学建築学教室

後援：(一社) 日本建築学会東海支部

(公社) 愛知建築士会

(公社) 空気調和・衛生工学会中部支部

(一社) 日本建築構造技術者協会中部支部

(以上後援予定団体、順不同)

(公社) 日本建築家協会東海支部

(公財) 名古屋まちづくり公社

(一社) 建築設備技術者協会中部支部